流通システム論 I

科目ナンバリング　CME-303
選択　　2単位

西川　みな美

1. 授業の概要（ねらい）

流通とは生産と消費を結びつける経済部門であり、流通システムとはこの商品流通の仕組みを指します。この授業では、みなさんが日頃店頭で手にする商品がいかなる流通プロセスを経ているのか、流通業者がどのような役割を担っているのかを理解するために、事例を交えながら流通システムの基礎的な概念と理論を体系的に学びます。受講においては、講義の内容を覚え問題を解くだけではなく、自身の周りに存在する流通に関する現象や問題を探し、考える姿勢を求めます。

2. 授業の到達目標

この授業の目的は、流通に関連する理論を理解し、それに基づいて現実に起きている流通に関する問題の分析能力を養うことです。そのために、以下の点を達成することを目指します。
・流通の役割を理解し、なぜ流通業者が存在しているのかを説明できる。
・流通論の観点から、日本の流通システムの特徴を捉えることができる。
・流通に関する記事・ニュースを一通り理解できる。

3. 成績評価の方法および基準

・①期末試験と、②講義中の小テスト・レポートの合計点 (①+②) で評価します。
・期末試験は持込一切不可です。
・出席はとりませんが、毎回講義中に小テストあるいはレポートを提出していただきます。

4. 教科書・参考文献

参考文献
崔　容熏・原　頼利・東　伸一　はじめての流通　有斐閣
矢作　敏行　現代流通　有斐閣

5. 準備学修の内容

授業では、現実の事例と関連させながら流通論の基礎を学びます。復習として、授業で紹介した事例について調べたり、日々の生活において流通に関する現象を意識して観察してみると、授業の理解がより深まると思います。

6. その他履修上の注意事項

・私語など授業の妨げとなる行為を行った場合は、減点します。
・授業計画や評価方法の詳しい説明は第1回目のガイダンスにて行います。また、シラバスから内容が変更される場合もありますので、当講義を履修する場合は第1回目を必ず受講してください。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス：この講義の全体像を示しながら、流通システムとは何かを説明する。
【第2回】　流通の役割：流通機能
【第3回】　商業者の存在意義
【第4回】　流通における機能分担
【第5回】　まとめ・日本の流通システム
【第6回】　マーケティングと流通チャネル
【第7回】　流通チャネルの設計
【第8回】　垂直統合チャネル
【第9回】　取引費用モデル
【第10回】　流通チャネルの管理
【第11回】　流通系列化
【第12回】　製販同盟
【第13回】　ケーススタディ
【第14回】　まとめ (※オンライン授業の予定)
【第15回】　課題のフィードバック
期末試験